

当行では地方創生に関する体制整備を行い、地方創生担当部を設けるとともに全店の支店長を地方創生サポーターに任命して各地方公共団体の地方版「総合戦略」の実現を支援しております。

また、中期経営計画「for the FUTURE ～未来に向けて～」では外部との連携を強化する「広域情報戦略」の担当役員を配置いたしました。加えて、これまでの金融ビジネスにとらわれない新たな事業領域へ挑戦することで、地域への新たな価値の提供に努めています。

地域経済活性化に向けた地方創生の取組み

■地域活性化事業会社「とりぎん地域デザインパートナーズ」設立

当行は、株式会社とりぎん未来共創キャピタルとの共同出資により、2026年1月30日に株式会社とりぎん地域デザインパートナーズを設立いたしました。

地方公共団体や様々なステークホルダーと連携しつつ、地域社会の未来に向けて、地域課題の解決や地域の新たな価値創出に取り組んでまいります。

鳥取市まちなかビジネス共創事業

2026年3月、同社は、鳥取市がまちなかの活性化や鳥取駅周辺の再生等を官民連携で進めていくことを目的として公募した「都市再生推進法人」に指定されました。

2026年4月、鳥取市から「令和8年度鳥取市まちなかビジネス共創事業」を受託しました。「鳥取市まちなかビジネス共創スクエア（愛称：カトカミ）」を拠点として、多様な人材の交流を促進し、新たなビジネスの創出や地域課題解決を図るプログラムやイベント・セミナーを実施することで、鳥取駅周辺エリアを中心に中心市街地の活性化に寄与いたします。



■とりぎん青い鳥基金により持続可能な地域づくりに取り組む団体を支援

とりぎん青い鳥基金は、鳥取県初の公益信託として2000年に設立されました。また、2020年4月より「公益財団法人とっとり県民活動活性化センター」をパートナーに迎え、地方創生SDGsの実現を目的とした事業として、鳥取県内で持続可能な地域づくりに取り組む団体を支援しています。2024年下期（第49回）の助成先は下記のとおりです。



団体名	活動内容
一般社団法人ほどきのとっと	児童発達支援事業所において砂場の整備を実施、砂場をきっかけとして多様な人々が集うインクルーシブな場づくりを行う。
渡上部落荒神講「龍巻神事」保存会	地域の伝統行事「龍巻神事」を後世に継承していくため保存会を設立、今後の活動のための備品整備を行い将来の担い手の育成を行う。
NPO法人はなとたね	廃校を活用したフリースクールを運営、ドローン・プログラミング機材を購入し、子ども達が先進技術に親しみ、論理的思考や挑戦する力を育む環境を整える。
一般社団法人米子市文化財団	郷土ゆかりの作家の作品を鑑賞する機会として「没後80年香田勝太展」を開催、郷土文化へ関心を持っていただく契機とする。
特定非営利活動法人OMU	地域の魅力が一目でわかるイラスト観光案内看板を設置、観光客が地域の魅力を感じながらウォーキング出来る環境を整える。

■地域への金融教育に関する取組み

地域社会の金融リテラシー向上のため、地域の皆さまへ提供している金融経済教育について、2025年度の受講者数は1,841人にのぼり、2021年度からの累計では5,086人となりました。中期経営計画の目標である「2021年度から2030年度までの受講者数（累計）：5,000人」を前倒しにて達成し、このたび目標を10,000人に上方修正いたしました。今後も金融経済教育の推進を図ってまいります。



2026年3月14日 大山日ノ丸証券株式会社と共同開催した「親子で学ぶ金融教室」の様子